

データで見る大阪府立病院機構（R3年度決算）

- 売上高（医業収入）は**約831億円**（R2比では+31億円）
← コロナ患者受け入れ等による診療単価の向上や外来患者数の回復に伴い増収。
- 資金収支決算は、**約57億円の黒字**（法人化以後、16年連続）
← 医業収支は**▲82億円**だが、コロナ関連補助金110億円による

資本金 **200億円** 保有資産 **1,500億円**
運営費負担金（注） **55億円**

（注）運営費負担金

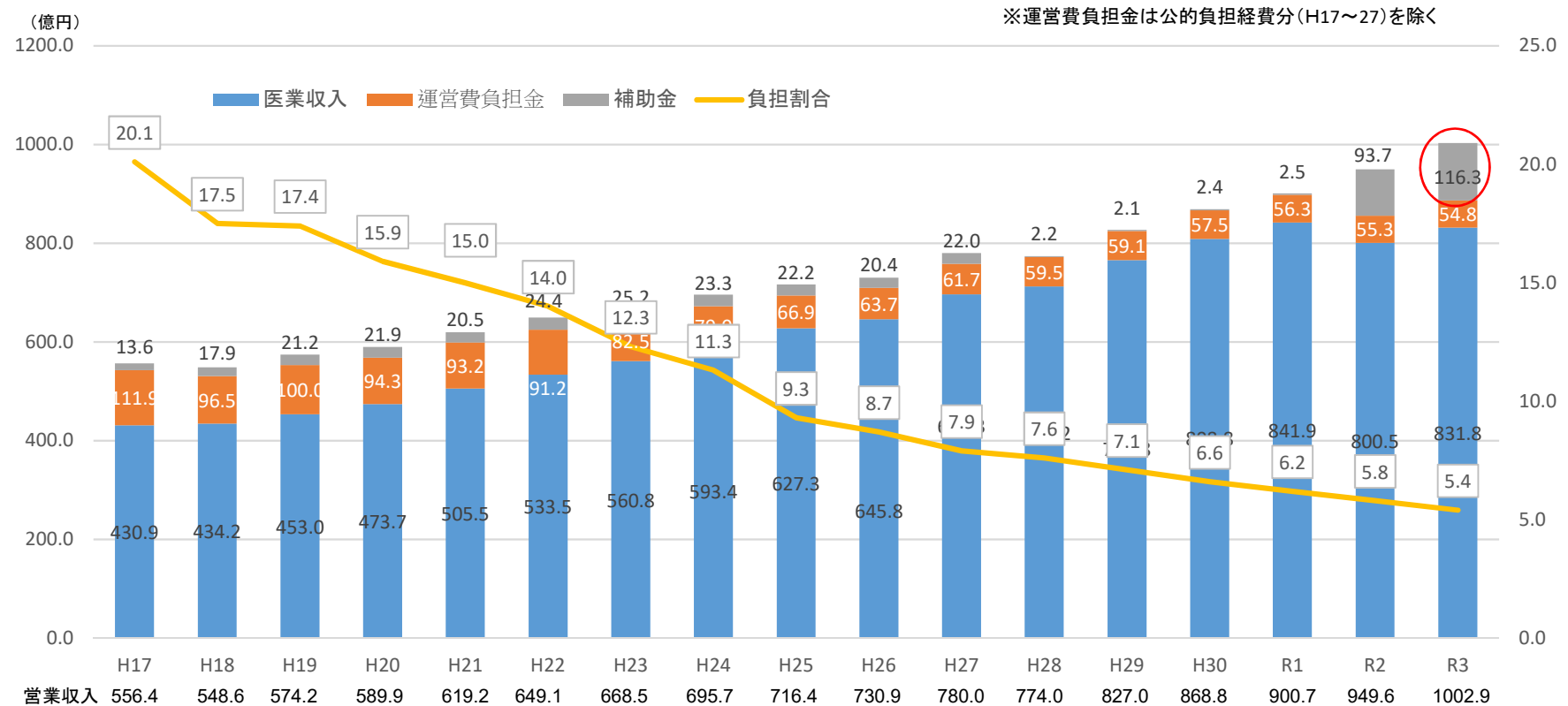
他の病院では実施が難しい医療や、不採算な医療など、大阪府の医療政策上の事業を実施するための大阪府からの負担金

営業収入の推移

○医業収入額は、独法化前の約1.9倍(+400.9億円) ≪⑰430.9⇒②831.8≫

○運営費負担金額※は、独法化前の約半分に(▲42.9億円) ≪⑰111.9⇒②54.8≫

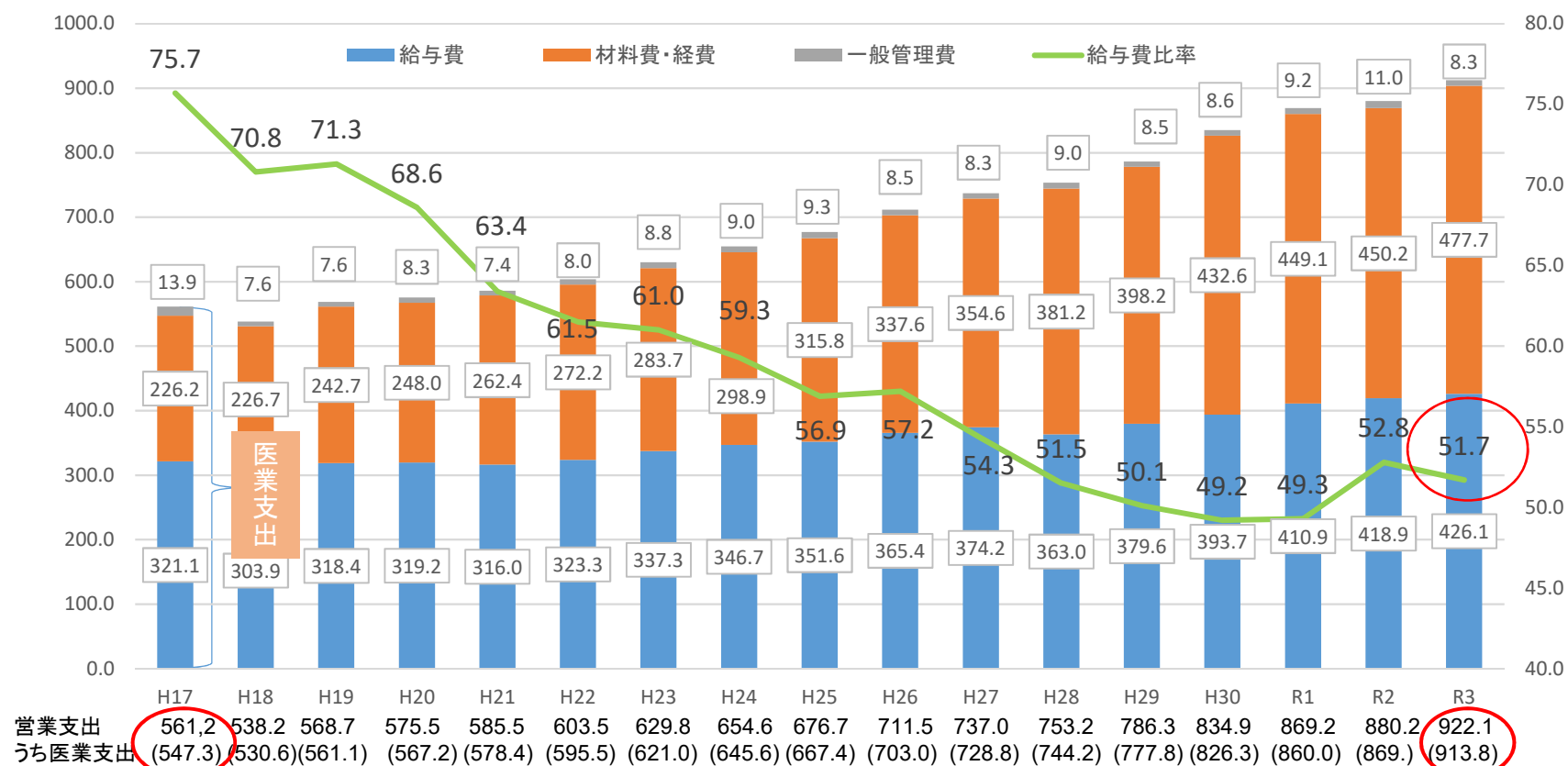
営業収入に占める運営費負担金の割合は1/3以下に(▲14.7%) ≪⑰20.1⇒②5.4≫



※端数処理のため、合計が一致しない場合がある

営業支出の推移

○医業支出額は、独法化前の約1.6倍(+366.5億円)《①547.3⇒②913.8》だが、
 給与費の実額は、独法化前の約1.3倍(+105億円)《①321.1⇒②426.1》にとどまり、
 給与費の比率も、独法化前の約2/3に(▲24.0%)《①75.7⇒②51.7》



※端数処理のため、合計が一致しない場合がある

病院ごとの経営状況

名 称	病床数 (床)	診療科数 (科)	医師数 (人)	医業収入 (億円)	運営費負担金 (政策医療分) (億円)	築年 (年)
大阪急性期・総合医療センター	865	35	179	293.3	16.8 (7.1)	1987
大阪はびきの医療センター	426	21	69	85.0	10.9 (8.9)	1973
大阪精神医療センター	473	3	30	37.0	17.5 (15.2)	2013
大阪国際がんセンター	500	29	145	272.4	20.4 (9.8)	2017
大阪母子医療センター	343	21	114	144.0	16.3 (13.9)	1981
計	2,639	—	537	831.8	81.8 (54.8)	

病床数、診療科数、医師数はR3年4月1日現在。 医業収入、運営費負担金は令和3年度決算値
※端数処理のため、合計が一致しない場合がある

決算の概要（R3年度）

単位:億円

科目	急性期	はびきの	精神	国際がん	母子	合 計
収入合計	401.2 (19.2)	169.5 (45.6)	63.3 (1.3)	302.5 (13.8)	176.3 (9.3)	1,113.2 (87.0)
医業収入	293.3 (10.2)	85.0 (3.9)	37.0 (▲1.1)	272.4 (13.2)	144.0 (5.0)	831.8 (▲41.3)
運営費負担金	7.1 (▲0.2)	8.9 (0.0)	15.2 (▲0.1)	9.8 (0.0)	13.9 (0.1)	54.8 (0.5)
補助金等収入	75.3 (15.4)	24.3 (4.2)	7.9 (2.6)	2.5 (0.2)	6.2 (2.8)	116.3 (22.6)
支出合計	368.2 (25.0)	151.8 (35.7)	57.5 (0.2)	304.9 (17.0)	164.9 (3.8)	1056.0 (79.3)
医業支出	335.2 (29.8)	99.4 (▲1.0)	52.1 (0.1)	277.0 (13.6)	150.1 (2.0)	913.8 (44.6)
資金収支差	33.0 (▲5.7)	17.7 (9.9)	5.9 (1.1)	▲2.4 (▲3.1)	11.4 (5.5)	57.2 (7.7)
病床利用率(%)	72.0 (▲2.0)	55.8 (▲6.6)	73.6 (▲5.4)	84.9 (▲1.1)	86.1 (2.0)	-
平均在院日数 (日)	10.8 (▲0.2)	9.9 (▲1.5)	105.0 (▲8.3)	8.8 (▲0.8)	9.1 (▲0.4)	-

()は対前年度比

決算の概況と今後の見通し

資金収支決算

- 収入面では、コロナ患者受入れ等による診療単価の向上や外来患者数の回復に伴い、医業収入は前年度と比較して31.2億円上回る831.8億円（前年度比3.9%増）となりました。
- 支出面では、高額薬剤の購入等による材料費や委託料などの経費が増加したほか、地域手当引上げなどにより給与費が増加し、医業支出は前年度と比較して44.6億円増加し、913.8億円（前年度比5.1%増）となりました。
- 運営費負担金を加味した結果、資金収支決算は57.2億円の黒字となりました。

損益計算書の経常損益

- 医業収益は、840.5億円、前年度比35.0億円の増収となりました。利息や消費税の支払い等の営業外費用を加味した経常損益においては、上記材料費等に伴う消費税が増加しましたが、61.9億円の利益を計上しました。

今後の見通し

- 新型コロナウイルスによる影響で医業収支の落ち込みが続いているものの、中期計画及び年度計画に掲げている目標の着実な達成に向けて、経営分析等によって課題を把握するとともに、中長期的な資金収支を見通して、より安定的な経営基盤の確立に努めていく。